

# 「鳥取方式」洪水浸水リスク図【日野川水系九塚川下流部、白谷川】 図郭23

＜「鳥取方式」洪水浸水リスク図とは＞  
 住民の皆様の適切な避難行動への一助とすることを目的として、鳥取県独自の簡易手法（「鳥取方式」）により、全県的に洪水のリスクを評価し、洪水浸水リスク図として情報提供を行うものです。  
 なお、鳥取県内の水位周知河川等（注1）では、水防法に基づき、想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域を指定・公表しておりますので、「鳥取方式」洪水浸水リスク図では、水位周知河川等以外の県管理河川を対象にしております。

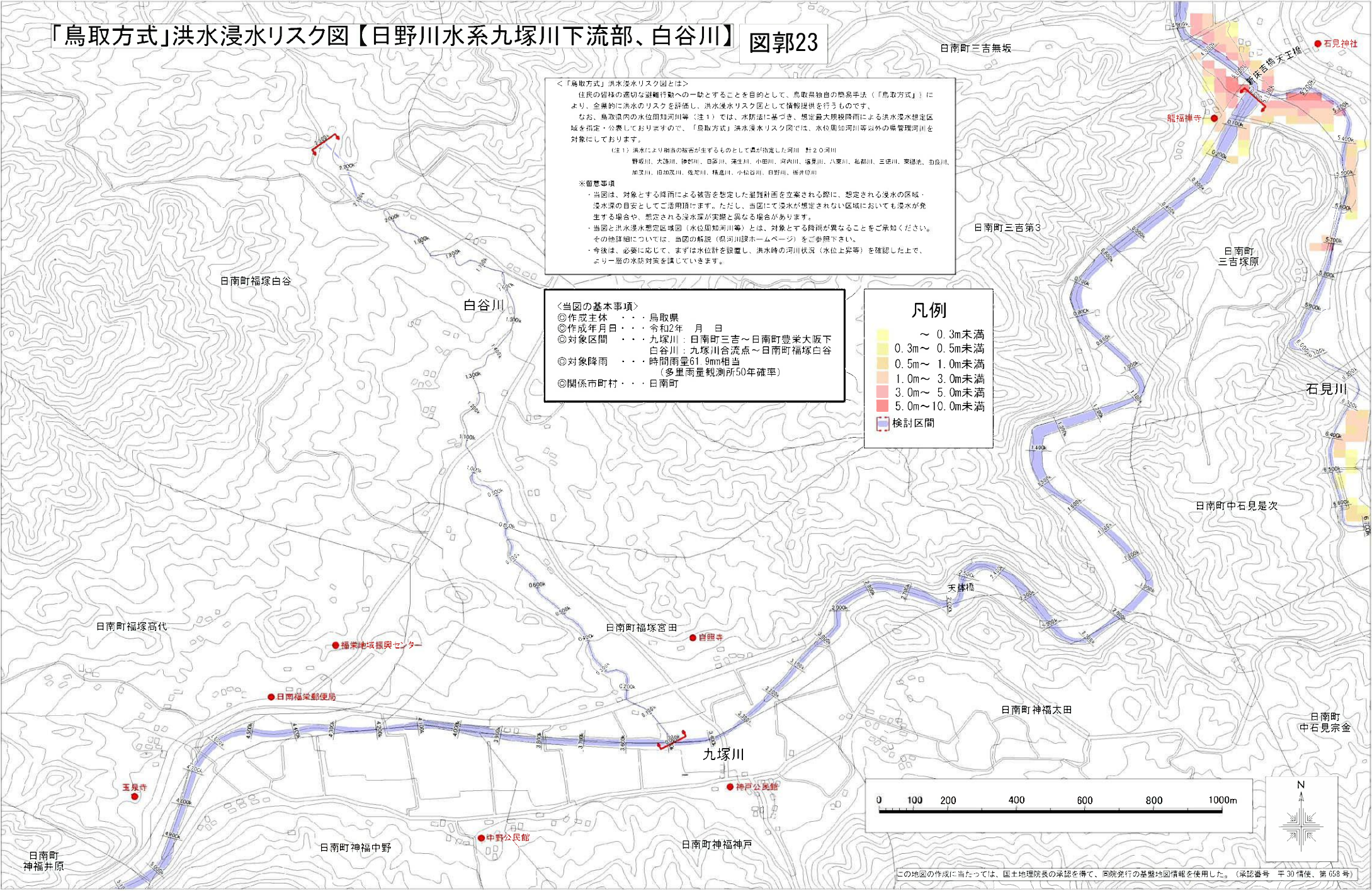
（注1）洪水により相応の被害が生ずるものとして県が指定した河川 計2の河川  
 野原川、大滝川、神野川、白谷川、栗生川、小田川、宮内川、福原川、八栗川、私郡川、三徳川、栗郷池、由良川、加茂川、旧加茂川、佐太川、精進川、小松谷川、日野川、板井谷川

※留意事項  
 ・当図は、対象とする降雨による被害を想定した避難計画を立案される際に、想定される浸水の区域・浸水深の目安としてご活用頂きます。ただし、当図にて浸水が想定されない区域においても浸水が発生する場合や、想定される浸水深が実際と異なる場合があります。  
 ・当図と洪水浸水想定区域図（水位周知河川等）とは、対象とする降雨が異なることをご承知ください。その他詳細については、当図の解説（県河川課ホームページ）をご参照下さい。  
 ・事後は、必要に応じて、まずは水位計を設置し、洪水時の河川状況（水位上昇等）を確認した上で、より一層の水防対策を講じていきます。

＜当図の基本事項＞  
 ◎作成主体 …… 鳥取県  
 ◎作成年月日 …… 令和2年 月 日  
 ◎対象区間 …… 九塚川：日南町三吉～日南町豊栄大阪下  
                   白谷川：九塚川合流点～日南町福塚白谷  
 ◎対象降雨 …… 時間雨量61.9mm相当  
                   （多量雨量観測所50年確率）  
 ◎関係市町村 …… 日南町

凡例

（薄黄色）	～ 0.3m未滿
（黄色）	0.3m～ 0.5m未滿
（オレンジ）	0.5m～ 1.0m未滿
（赤）	1.0m～ 3.0m未滿
（濃赤）	3.0m～ 5.0m未滿
（黒）	5.0m～ 10.0m未滿
（青線）	検討区間



この地図の作成に当たっては、国土院院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 平30情使、第058号）

# 「鳥取方式」洪水浸水リスク図【日野川水系九塚川上流部、井原川】 図郭24

＜「鳥取方式」洪水浸水リスク図とは＞

住民の皆様への適切な避難行動への一助とすることを目的として、鳥取県独自の簡易手法（「鳥取方式」）により、全県的に洪水のリスクを評価し、洪水浸水リスク区として情報提供を行うものです。

なお、鳥取県内の水位周知河川等（注1）では、水防法に基づき、想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域を指定・公表しておりますので、「鳥取方式」洪水浸水リスク図では、水位周知河川等以外の県管轄河川を対象にしております。

（注1）洪水により相當の被害が生ずるものとして県が指定した河川 数20河川

野坂川、大瀬川、野瀬川、日野川、栗生川、小田川、河内川、榎見川、八重川、長瀬川、三徳川、貫峯池、由良川、加茂川、旧加茂川、佐陀川、猪瀬川、小松谷川、日野川、根井原川

※留意事項

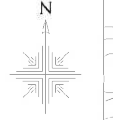
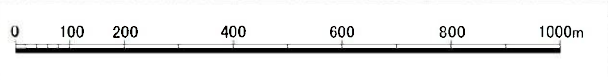
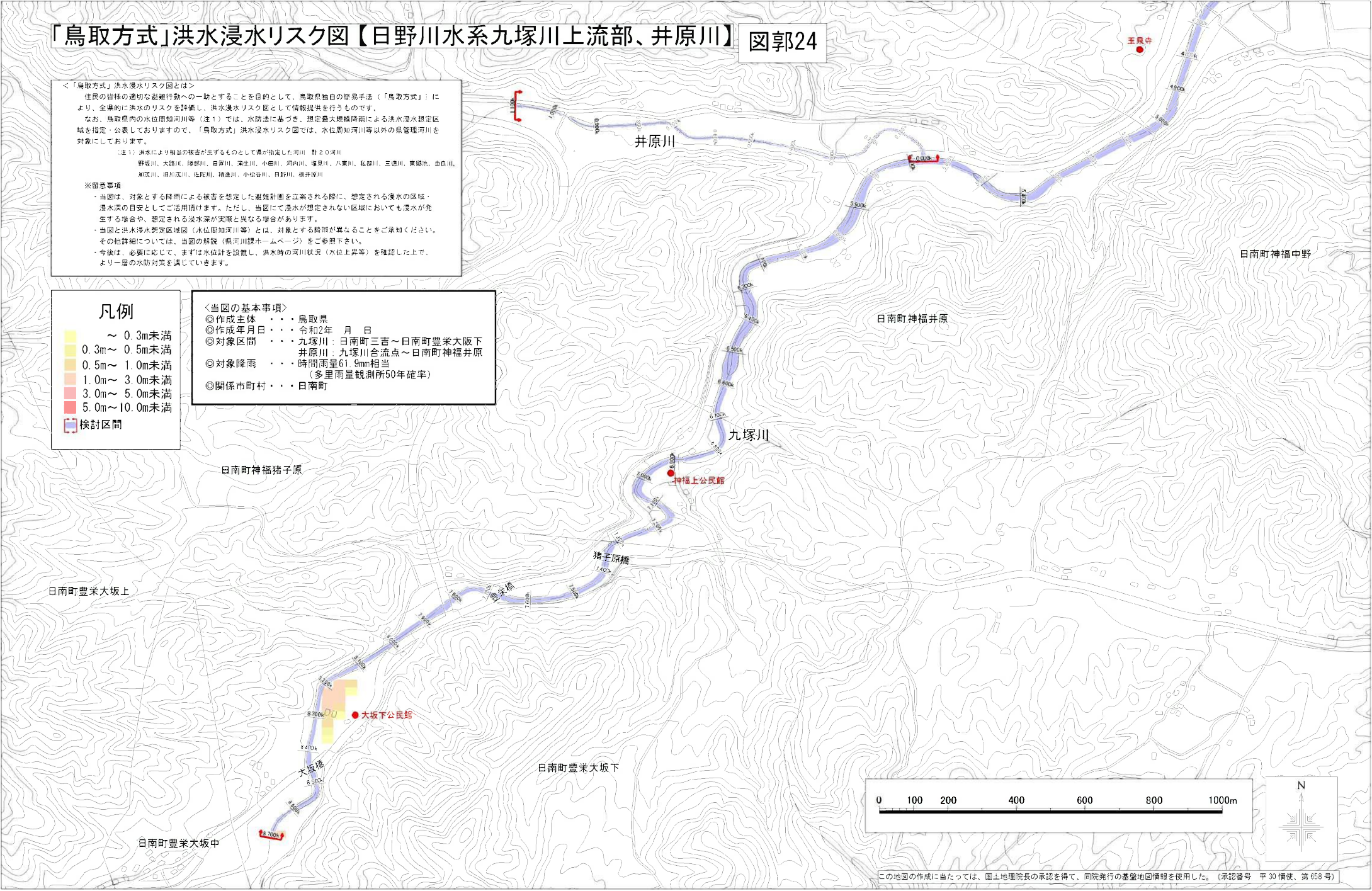
- ・当図は、対象とする降雨による被害を想定した避難計画を立案される際に、想定される浸水の区域・浸水深の目安としてご利用頂きます。ただし、当区にて浸水が想定されない区域においても浸水が発生する場合や、想定される浸水深が実際と異なる場合があります。
- ・当図と洪水浸水想定区域図（水位周知河川等）とは、対象とする降雨が異なることをご承知ください。その相詳細については、当図の解説（県河川課ホームページ）をご参照下さい。
- ・今後は、必要に応じて、まずは水位計を設置し、洪水時の河川状況（水位上昇等）を確認した上で、より一層の予防対策を講じていきます。

## 凡例

- ～ 0.3m未満
- 0.3m～ 0.5m未満
- 0.5m～ 1.0m未満
- 1.0m～ 3.0m未満
- 3.0m～ 5.0m未満
- 5.0m～ 10.0m未満
- 検討区間

＜当図の基本事項＞

- ◎作成主体・・・鳥取県
- ◎作成年月日・・・令和2年 月 日
- ◎対象区間・・・九塚川：日南町三吉～日南町豊栄大坂下  
井原川：九塚川合流点～日南町神福井原
- ◎対象降雨・・・時間雨量61.9mm相当  
（多里雨量観測所50年確率）
- ◎関係市町村・・・日南町



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。（承認番号 平30情使、第658号）

# 「鳥取方式」洪水浸水リスク図【日野川水系印賀川中流部、宝谷川下流部、吉鏝川】



図郭25

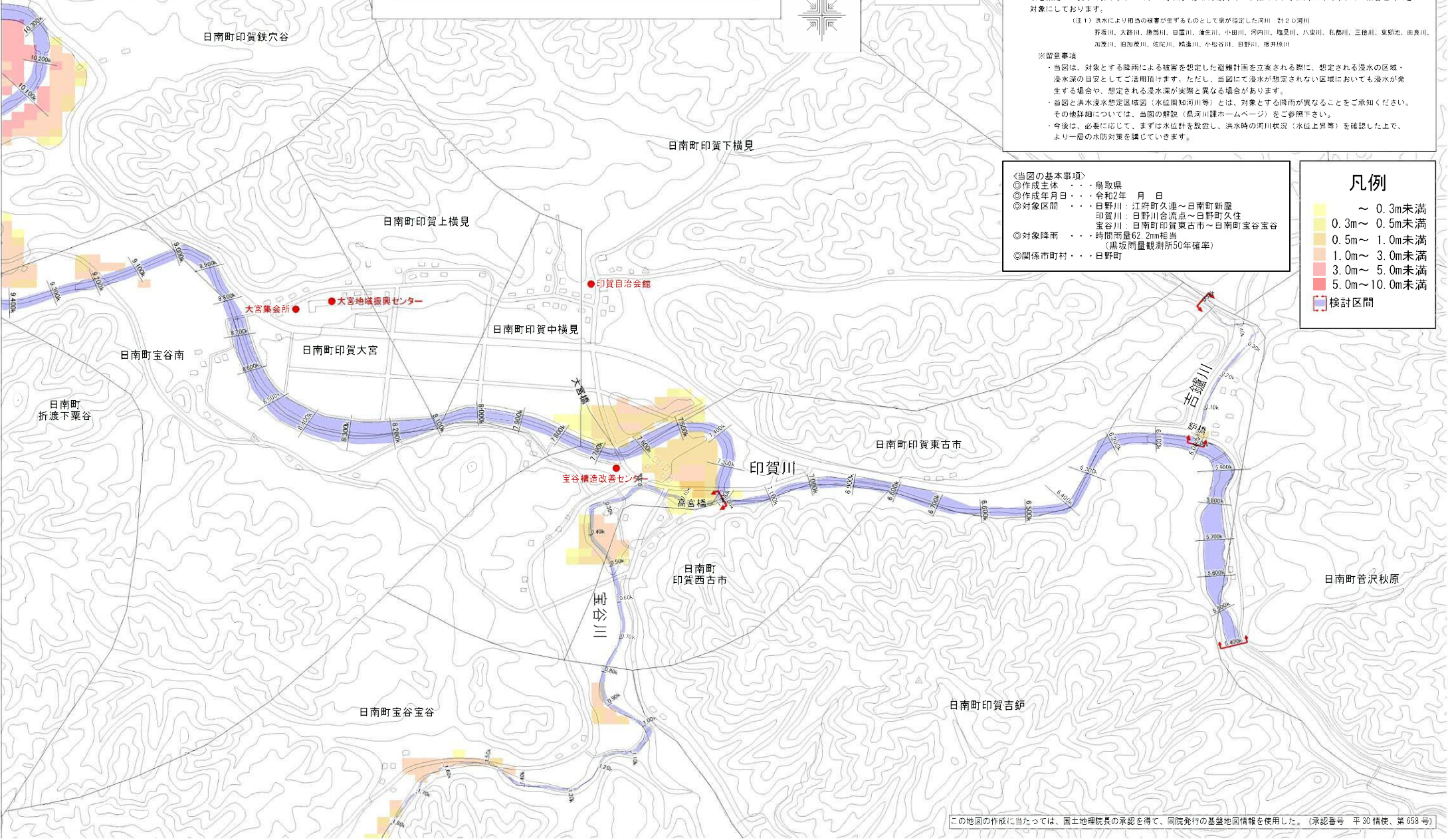
＜「鳥取方式」洪水浸水リスク図とは＞  
 住民の皆様への適切な避難行動への一助とすることを目的として、鳥取県独自の簡易手法（「鳥取方式」）により、全県的に洪水のリスクを評価し、洪水浸水リスク図として情報提供を行うものです。  
 なお、鳥取県内の水位周知河川等（注1）では、水防法に基づき、想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域を指定・公表しておりますので、「鳥取方式」洪水浸水リスク図とは、水位周知河川等以外の県管理河川を対象としております。  
 （注1）洪水により相当の被害が生ずるものとして県が指定した河川：計2の河川  
 野坂川、大野川、藤野川、日置川、浦生川、小田川、河内川、塩見川、八束川、私郡川、三徳川、東郷池、由良川、加茂川、湯加茂川、篠院川、野瀬川、小坂谷川、日野川、猪井原川

※留意事項  
 ・当図は、対象とする降雨による被害を想定した避難計画を立案される際に、想定される浸水の区域・浸水深の目安としてご活用頂けます。ただし、当図にて浸水が想定されない区域においても浸水が発生する場合や、想定される浸水深が実際と異なる場合があります。  
 ・当図と洪水浸水想定区域図（水位周知河川等）とは、対象とする降雨が異なることをご確認ください。その他詳細については、当図の解説（県河川課ホームページ）をご参照下さい。  
 ・今後は、必要に応じて、まずは水位計を設置し、洪水時の河川状況（水位上昇等）を確認した上で、より一層の水防対策を講じていきます。

＜当図の基本事項＞  
 ◎作成主体・・・鳥取県  
 ◎作成年月日・・・令和2年 月 日  
 ◎対象区間・・・日野川：江府町久連～日南町新屋  
 印賀川：日野川合流点～日野町久住  
 宝谷川：日南町印賀東古市～日南町宝谷釜谷  
 ◎対象降雨・・・時間雨量62.2mm相当  
 （黒坂雨量観測所50年確率）  
 ◎関係市町村・・・日野町

凡例

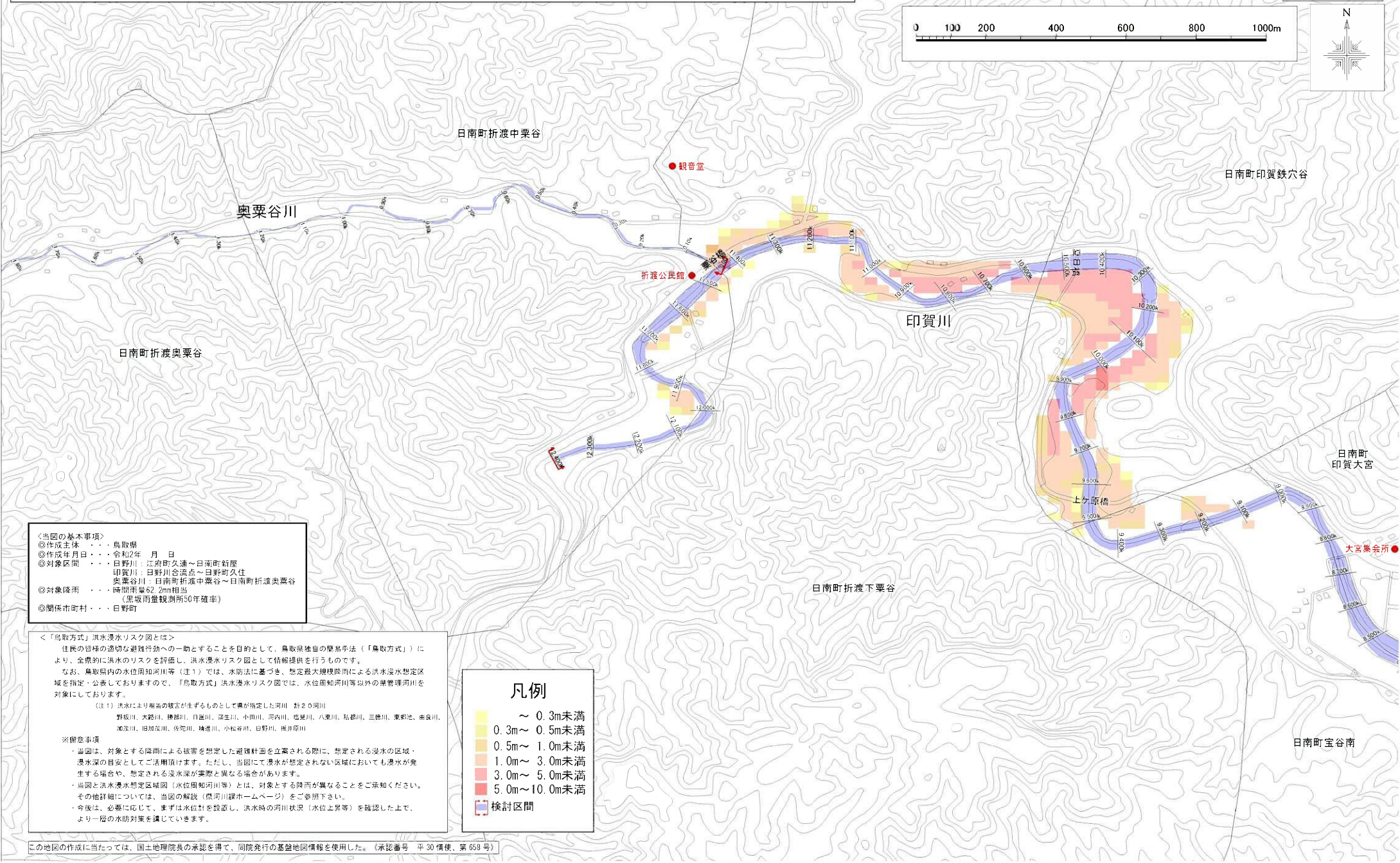
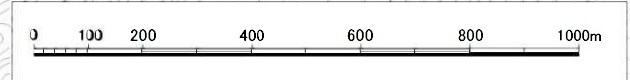
（薄黄色）	～ 0.3m未満
（黄色）	0.3m～ 0.5m未満
（オレンジ）	0.5m～ 1.0m未満
（赤）	1.0m～ 3.0m未満
（濃い赤）	3.0m～ 5.0m未満
（黒）	5.0m～ 10.0m未満
（赤枠）	検討区間



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。（承認番号 平30情保、第658号）

# 「鳥取方式」洪水浸水リスク図【日野川水系印賀川上流部、奥粟谷川下流部】

図郭26



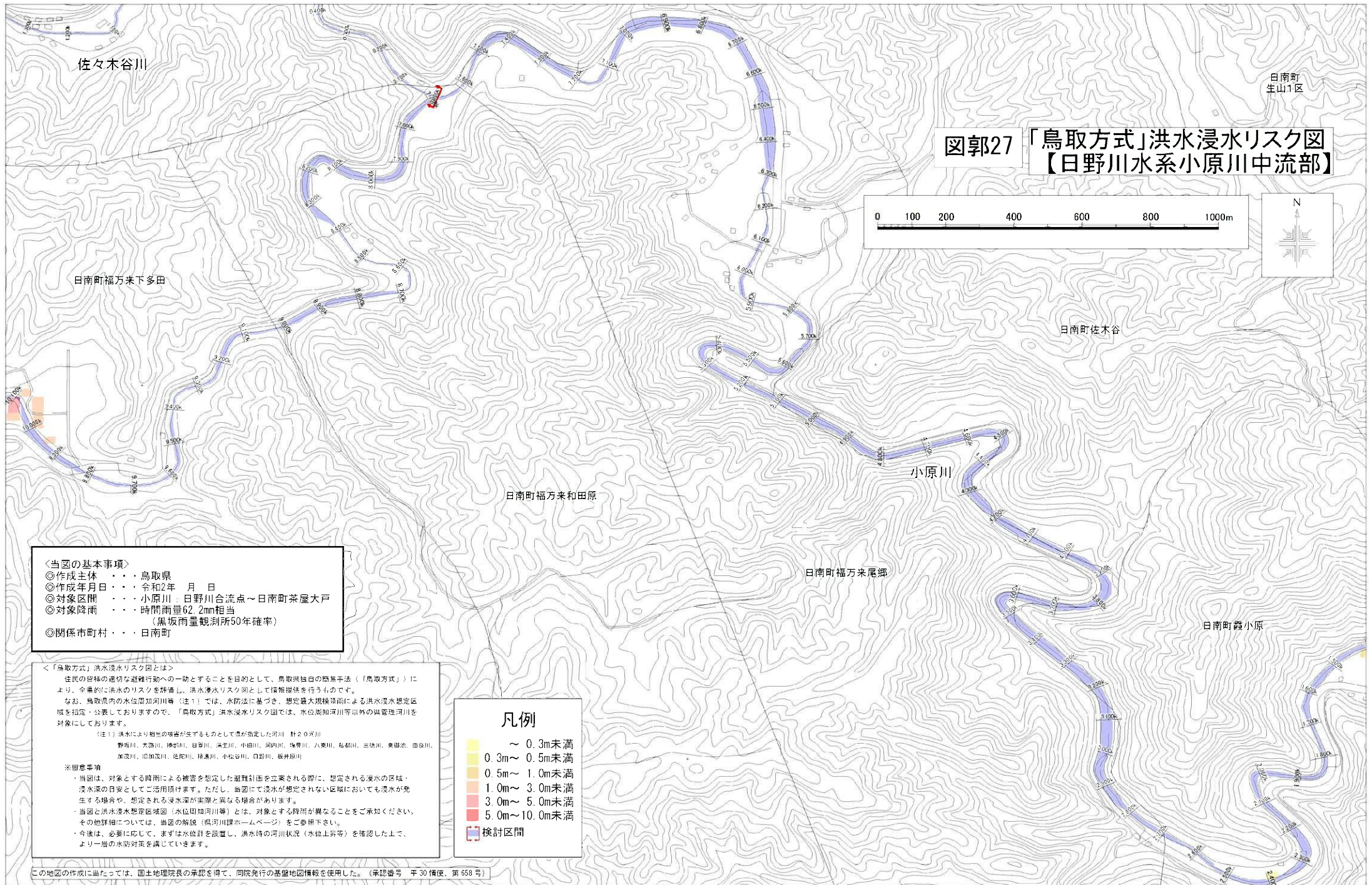
＜当図の基本事項＞  
 ◎作成主体・・・鳥取県  
 ◎作成年月日・・・令和2年 月 日  
 ◎対象区間・・・日野川：江府町久遠～日南町新屋  
 印賀川：日野川合流点～日野町久住  
 奥栗谷川：日南町折渡中栗谷～日南町折渡奥栗谷  
 ◎対象降雨・・・時間雨量62.2mm相当  
 （見坂雨量観測所50年確率）  
 ◎関係市町村・・・日野町

＜「鳥取方式」洪水浸水リスク図とは＞  
 住民の皆様が適切な避難行動への一助とすることを目的として、鳥取県独自の簡易手法（「鳥取方式」）により、全県的に洪水のリスクを評価し、洪水浸水リスク図として情報提供を行うものです。  
 なお、鳥取県内の水位用知河川等（注1）では、水防法に基づき、想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域を指定・公表しておりますので、「鳥取方式」洪水浸水リスク図では、水位用知河川等以外の準管理河川を対象にしております。  
 （注1）洪水により相當の被害が生ずるものとして県が指定した河川 計20河川  
 野坂川、大野川、藤部川、白鹿川、蒲生川、小田川、河内川、豊見川、八瀬川、八瀬川、三徳川、東郷池、南良川、加茂川、田加茂川、後院川、種徳川、小松原川、日野川、横井原川  
 ※留意事項  
 ・当図は、対象とする降雨による被害を想定した避難計画を立案される際に、想定される浸水の区域・浸水深の目安としてご活用頂けます。ただし、当図にて浸水が想定されない区域においても浸水が発生する場合があります。想定される浸水深が実際と異なる場合があります。  
 ・当図と洪水浸水想定区域図（水位用知河川等）とは、対象とする降雨が異なることをご承知ください。その他詳細については、当図の解説（県河川課ホームページ）をご参照下さい。  
 ・今後は、必要に応じて、まずは水位計を設置し、洪水時の河川状況（水位上昇等）を確認した上で、より一般の水防対策を講じていきます。

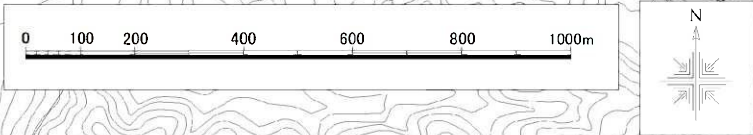
凡例

（薄黄色）	～ 0.3m未滿
（黄色）	0.3m～ 0.5m未滿
（オレンジ）	0.5m～ 1.0m未滿
（赤）	1.0m～ 3.0m未滿
（濃赤）	3.0m～ 5.0m未滿
（黒）	5.0m～ 10.0m未滿
（白枠）	検討区間

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。（承認番号 平30情使、第658号）



図郭27 「鳥取方式」洪水浸水リスク図  
【日野川水系小原川中流部】



〈当図の基本事項〉  
 ◎作成主体・・・鳥取県  
 ◎作成年月日・・・令和2年 月 日  
 ◎対象区間・・・小原川：日野川合流点～日南町茶屋大戸  
 ◎対象降雨・・・時間雨量62.2mm相当  
 （黒坂雨量観測所50年確率）  
 ◎関係市町村・・・日南町

＜「鳥取方式」洪水浸水リスク図とは＞  
 住民の皆様への適切な避難行動への一助とすることを目的として、鳥取県独自の簡易手法（「鳥取方式」）により、全県的に洪水のリスクを評価し、洪水浸水リスク図として情報提供を行うものです。  
 なお、鳥取県内の水位周知河川等（注1）では、水防法に基づき、想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域を指定・公表しておりますので、「鳥取方式」洪水浸水リスク図では、水位周知河川等以外の鳥取県内河川を対象としております。  
 （注1）洪水により相当の被害が及ぶものとして県が指定した河川 計26河川  
 野原川、大野川、神野川、日野川、湯定川、小田川、河内川、神野川、八雲川、松野川、三休川、泉郷川、田原川、加茂川、田加茂川、佐野川、新瀬川、小松谷川、日野川、板井原川  
 ※留意事項  
 ・当図は、対象とする降雨による被害を想定した避難計画を立案される際に、想定される浸水の区域・浸水深の目安としてご活用頂けます。ただし、当図にて浸水が想定されない区域においても浸水が発生する場合があります。想定される浸水深が異なる場合があります。  
 ・当図と洪水浸水想定区域図（水位周知河川等）とは、対象とする降雨が異なることをご承知ください。その他詳細については、当図の解説（県河川課ホームページ）をご参照下さい。  
 ・今後は、必要に応じて、まずは水位計を設置し、洪水時の河川状況（水位上昇等）を確認した上で、より一層の水防対策を講じていきます。

凡例

（薄黄色）	～ 0.3m未満
（黄色）	0.3m～ 0.5m未満
（オレンジ）	0.5m～ 1.0m未満
（赤）	1.0m～ 3.0m未満
（濃い赤）	3.0m～ 5.0m未満
（黒）	5.0m～ 10.0m未満
（赤枠）	検討区間

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。（承認番号 平30情便、第658号）

# 「鳥取方式」洪水浸水リスク図【日野川水系小原川上流部、小濁川】 図郭28

＜「鳥取方式」洪水浸水リスク図とは＞  
 住民の皆様の適切な避難行動への一助とすることを目的として、鳥取県独自の啓発手法（「鳥取方式」）により、全県的に洪水のリスクを評価し、洪水浸水リスク図として情報提供を行うものです。  
 なお、鳥取県内の水位周知河川等（注1）では、水防法に基づき、想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域を指定・公表しておりますので、「鳥取方式」洪水浸水リスク図では、水位周知河川等以外の県管理河川を対象としております。

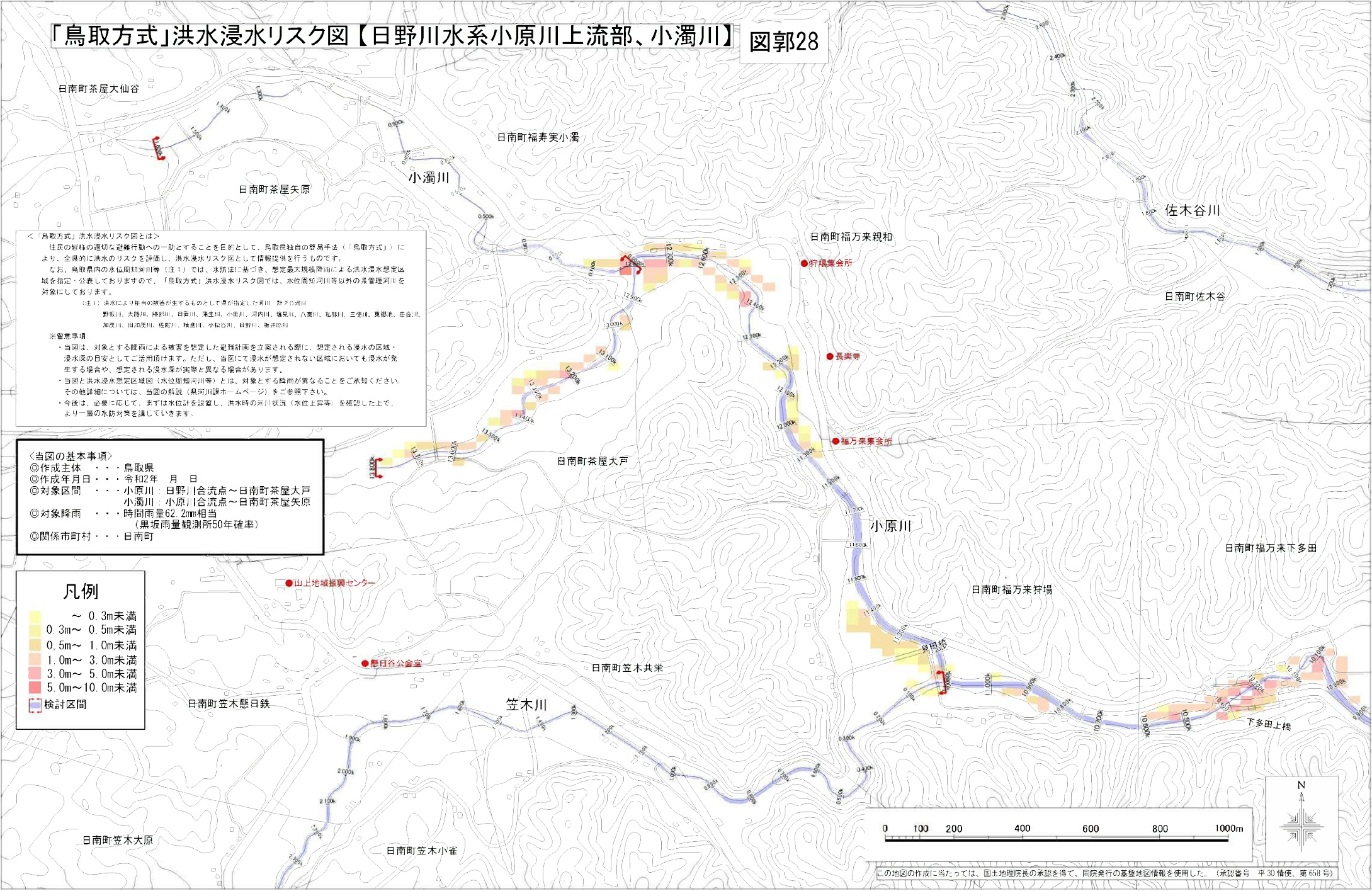
（注1）洪水により相当の被害が生ずるものとして県が指定した河川 野洲川、大瀬川、降部川、日野川、津立川、小湊川、河内川、備前川、八重川、私部川、三徳川、栗郷池、市役川、加茂川、田原茂川、佐野川、種瀬川、小松谷川、日野川、兼井川

※留意事項  
 ・当図は、対象とする降雨による被害を想定した避難計画を立案される際に、想定される浸水の区域・浸水深の目安としてご利用頂けます。ただし、当図にて浸水が想定されない区域においても浸水が発生する場合があります。想定される浸水深が実際と異なる場合があります。  
 ・当図と洪水浸水想定区域図（水位周知河川等）とは、対象とする降雨が異なることをご承知ください。その他詳細については、当図の解説（県河川課ホームページ）をご参照下さい。  
 ・今後は、必要に応じて、まずは水位計を設置し、洪水時の河川状況（水位上昇等）を確認した上で、より一層の水防対策を講じていきます。

＜当図の基本事項＞  
 ◎作成主体・・・鳥取県  
 ◎作成年月日・・・令和2年 月 日  
 ◎対象区間・・・小原川：日野川合流点～日南町茶屋大戸  
                   小濁川：小原川合流点～日南町茶屋矢原  
 ◎対象降雨・・・時間雨量62.2mm相当  
                   （黒坂雨量観測所50年確率）  
 ◎関係市町村・・・日南町

凡例

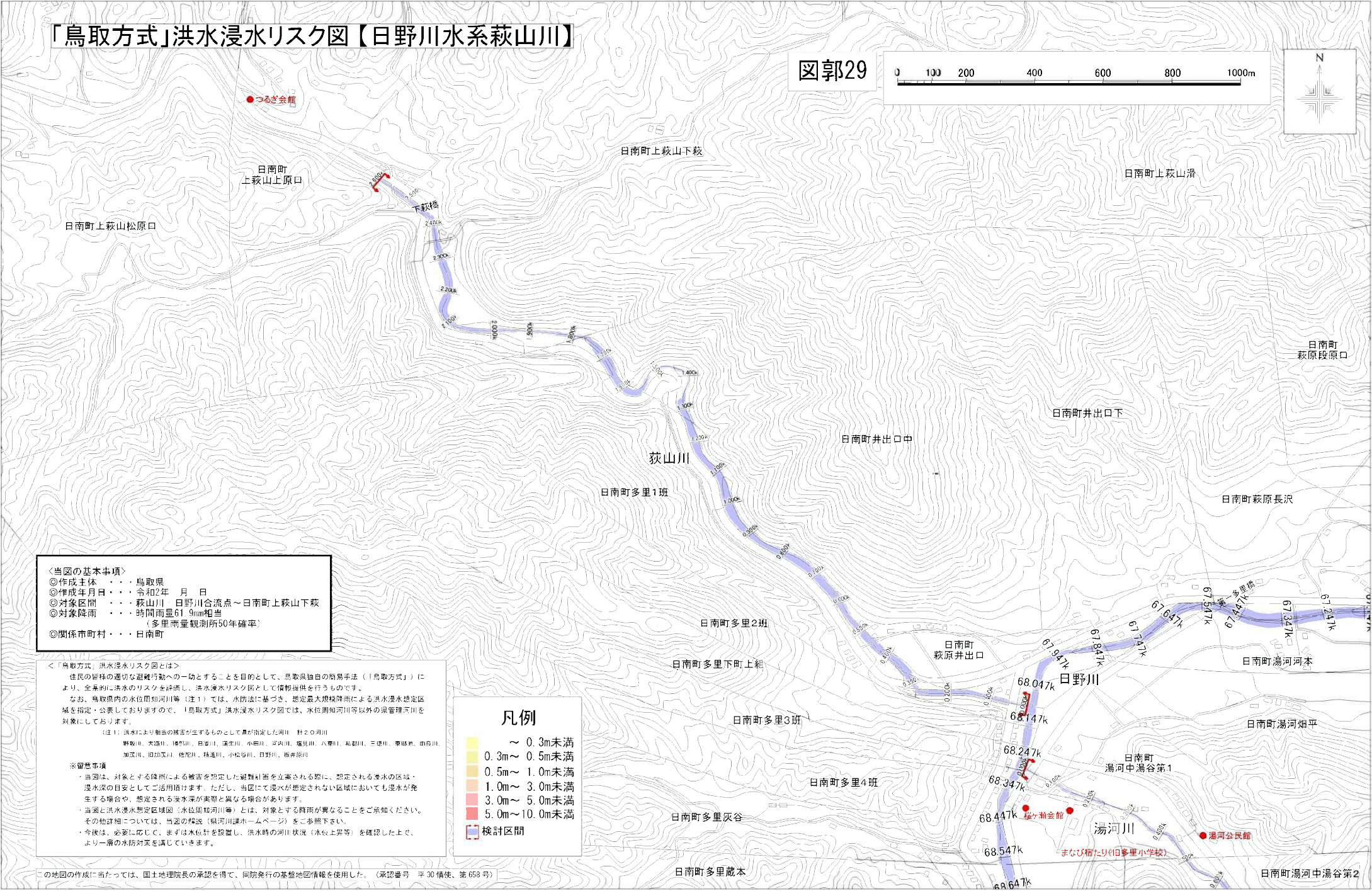
■	～ 0.3m未滿
■	0.3m～ 0.5m未滿
■	0.5m～ 1.0m未滿
■	1.0m～ 3.0m未滿
■	3.0m～ 5.0m未滿
■	5.0m～ 10.0m未滿
■	検討区間



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。（承認番号 平30情保、第658号）

# 「鳥取方式」洪水浸水リスク図【日野川水系萩山川】

図郭29



＜当図の基本事項＞  
 ◎作成主体・・・鳥取県  
 ◎作成年月日・・・令和2年 月 日  
 ◎対象区間・・・萩山川 日野川合流点～日南町上萩山下萩  
 ◎対象降雨・・・時間雨量61.9mm相当  
 (多里雨量観測所50年確率)  
 ◎関係市町村・・・日南町

＜「鳥取方式」洪水浸水リスク図とは＞  
 住民の皆様の適切な避難行動への一切とすることを目的として、鳥取県独自の簡易手法（「鳥取方式」）により、全県的に洪水のリスクを評価し、洪水浸水リスク図として情報提供を行うものです。  
 なお、鳥取県内の水位周知河川等（注1）では、水防法に基づき、想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域を指定・公表しておりますので、「鳥取方式」洪水浸水リスク図では、水位周知河川等以外の県管理河川を対象にしております。  
 （注1）洪水により相当の被害が生ずるものとして県が指定した河川 計20の河川  
 野野川、大湯川、橋野川、日野川、赤倉川、小冊川、田内川、坂見川、八雲川、萩野川、三徳川、香取川、田原川、加茂川、田加茂川、徳和川、精進川、小松谷川、日野川、板井原川  
 ※留意事項  
 ・当図は、対象とする降雨による被害を想定した避難計画を立案される際に、認定される浸水の区域・浸水深の目安としてご活用頂けます。ただし、当図にて浸水が想定されない区域においても浸水が発生する場合や、想定される浸水深が実際と異なる場合があります。  
 ・当図と洪水浸水想定区域図（水位周知河川等）とは、対象とする降雨が異なることをご承知ください。その他詳細については、当図の解説（県河川課ホームページ）をご参照下さい。  
 ・今後は、必要に応じて、まずは水位計を設置し、洪水時の河川状況（水位上昇等）を確認した上で、より一層の水防対策を講じていきます。

凡例	
	～ 0.3m未満
	0.3m～ 0.5m未満
	0.5m～ 1.0m未満
	1.0m～ 3.0m未満
	3.0m～ 5.0m未満
	5.0m～ 10.0m未満
	検討区間

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。（承認番号 平 30 情使、第 658 号）